

2011年11月14日

朝鮮民主主義人民共和国サッカー協会

関係者各位

社団法人日本新聞協会

編集委員会

代表幹事 浅海 保

申し入れ

11月15日に平壤で開始される2014年ワールドカップ（W杯）アジア地区3次予選、北朝鮮―日本戦に関し、日本の報道機関各社は、日本サッカー協会を通じて、貴協会に対し、総勢51人のジャーナリストの取材希望を提出しました。

しかしながら、貴協会からは、ペン記者6人、カメラマン4人という極めて限られた数の取材許可しか下りませんでした。このため、日本サッカー協会は、再三にわたって貴協会の再考を求めましたが、明確な理由も明らかにされず、今日に至っても、我々の要求は拒絶されたままです。

サッカーは世界で圧倒的な人気を誇る競技であり、なかんづくW杯は最も関心を集める大会です。この試合については、日本国内の関心も非常に高く、今回のように、取材活動の自由を制限したり、侵害したりすることは、到底、受け入れられるものではありません。日本新聞協会としても、このような事態は、到底看過できるものではなく、貴協会が我が報道各社の要求を速やかに受け入れ、問題を解決するよう切に希望します。

以上